

令和3年度学校自己評価システムシート (県立越谷東高等学校)

目指す学校像	志を高くチャレンジ精神に満ちた生徒を育て、きめ細かく面倒見のよい指導を実践し、地域から信頼される学校
--------	--

重点目標	1 学習支援を充実させ、生徒の学習力を高める。 2 生徒一人一人の希望にそった進路決定を実現させる。 3 規律ある生活態度を身につけさせ、部活動を活性化させる。 4 地域との連携を深め、社会に貢献できる生徒を育成する。
------	--

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

学 校 自 己 評 価							
年 度 目 標				年 度 評 価 (2 月 2 日 現 在)			
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度 次年度への課題と改善策	
1	【現状】 ○自発的な学習習慣を定着させるため、ベネッセclassiを全学年に導入し活用した。 ○Google Classroomを活用して、課題や連絡を行った。 【課題】 ○3年生に向けて進路決定に係わらず、持続して勉強に取り組ませる必要がある。 ○授業公開日を増やし、授業改善に役立てる。	○学習習慣の定着と自己学習力の向上 ○指導力の向上による組織的な学習支援体制の充実	①家庭学習を前提とした授業を展開し、学習習慣を身につけさせる。 ②実力テストの実施と結果を活用し、生徒の学習意欲を高め、学力を向上させる。 ①教員の指導力向上を図るため、授業公開や研究授業を実施する。 ②研究授業後に各教科で研究協議を実施、授業改善に努める。 ③研究授業や授業観察を行い、教員の指導力向上に努め、生徒の学習意欲を高める。	①授業アンケート「予習・復習をしている。」75%以上。 ②実力テスト結果を昨年よりも向上させ、経年変化を分析。 ①授業公開を年5日実施。初任研・5年研にて、研究授業を実施。 ②各教科で研究協議を実施。 ③学校評価アンケート「分かりやすい授業にするため工夫している。」80%以上。	学習力の向上を図る指導が概ね達成。 ①授業アンケート「予習・復習をしている。」70.0%。 ②学習到達度では、2・3学年共に基礎学力の向上が見られた。 指導力向上の取組がほぼ達成できた。 ①授業公開を年5日実施。研究授業を初任研・5年研等で5回の実施。 ②各教科で研究協議を実施し、授業改善を行った。 ③学校評価アンケート「分かりやすい授業している。」85.0%。	B	自発的な学習習慣を定着させるため、Google Classroomにて課題を連絡し、ベネッセclassiを活用し、家庭学習するよう指導した。実力診断テストでは、基礎学力の向上が見られた。来年度も継続して活用していく。 授業公開や研究授業を実施し、授業改善に役立てることができた。来年度も継続して実施し、授業改善に役立てる。
2	【現状】 ○生徒の進路実現を図るため、計画的・組織的な進路指導を継続。 ○大学入試改革対策、小論文・面接指導、ポートフォリオに基づいた指導を実施した。 【課題】 ○計画的な進路指導を継続し、生徒の進路を実現させる。 ○一般選抜での受験までを見据えた対策を充実させる必要がある。	○生徒一人一人の進路希望の実現に向けた計画的・組織的な進路指導の継続	①計画的な進路指導を実施し、生徒の進路を実現させる。 ②大学入試改革の対策を行い、進学希望者へ進学補習を実施する。 ③多様な受験形態に応じた柔軟な進路指導・面接指導を実施する。 ④就職希望者に対して、企業研究・面接指導を実施する。	①進路未決定者数を0に近づける。 ②每学期進学補習の実施。長期休業中に進学補習の実施。大学短大の現役進学者数の増加(R1 106人) ③学校評価アンケート「進路に関する情報は、生徒に十分に提供されている。」90%以上。 ④就職内定率100%。	計画的組織的な進路指導をほぼ達成。 ①進路未決定者数36名。(2/2現在) ②每学期・休業中に進学補習を実施。現役進学者数112名。(2/2現在) ③「進路に関する情報は、生徒に十分に提供されている。」92.0%。 ④就職希望者9名、内定9名。内定率100%達成。	A	生徒一人一人の適切な進路実現を図るため、計画的・組織的な進路指導を継続して行ってきた。学校推薦型・総合型選抜の対策として、小論文・面接指導を重点的に実施した。一般選抜での受験を目指す生徒が増えていたため、一般選抜までを見据えた対策を充実させる必要がある。
3	【現状】 ○全職員の共通理解のもと生徒指導を実施し、落ち着いた環境を整えている。 ○新型コロナ感染防止のため学校行事の殆どが中止、部活動中止の期間が続いた。 【課題】 ○全職員の共通理解のもと生徒指導を継続して実施する。 ○行事の内容を見直し、コロナ禍でも開催できるよう工夫する。	○きめ細かく丁寧な生徒指導の実践による基本的生活習慣の確立 ○生徒の主體的な活動の支援による部活動の活性化	①挨拶の励行。言葉遣いの指導の徹底。 ②統一基準による整容指導の徹底。 ③全教員による身だしなみ指導の実施。 ①部活動体験会・部活動見学会を実施し、加入率を向上させる。 ②部活動の活動報告や大会等の結果をHPで積極的に発信する。	①学校評価アンケート「挨拶や言葉遣いの指導を十分に行っている。」90%以上。 ②学校評価アンケート「頭髪や服装指導を十分に行っている。」90%以上。 ③毎学期に身だしなみ指導を実施。 ①部活動の加入率90%以上を目指す。 ②各部活動のHPを年間平均3回以上の更新を目指す。	継続した生徒指導の実践をほぼ達成。 ①「挨拶や言葉遣いの指導を十分に行っている。」88.0%。 ②「頭髪や服装指導を十分に行っている。」95.0%。 ③毎学期、年間5日間身だしなみ指導を実施。 部活動の活性化をほぼ達成。 ①部活動加入率92.3%(R2 84.7%) ②各部活動のHPを年間平均5.6回更新。	A	全職員の共通理解のもと生徒指導を実施し、落ち着いた環境を整えている。今後も継続して規律を徹底し、しっかりとした学校生活を送れるよう指導する。 コロナ禍で部活動の制限がある中で、感染防止対策を徹底し部活を実施した。学校行事を工夫して行い、生徒の活躍の場を確保し、部活動の活性化につながった。来年度もさらなる活性化を目指す。
4	【現状】 ○新型コロナのため、学校説明会の時期や内容を変更して実施した。 ○学校行事の殆どが中止となりPTA・後援会総会、理事会は規模を縮小して実施した。 【課題】 ○部活動体験を増やし、学校説明会の日程を再検討し、積極的に情報発信を行う。 ○今後もPTA・後援会と連携して生徒の健全育成を図り、学校運営に活かしていく。	○家庭や地域等への積極的な情報発信と連携・協力の推進 ○保護者と連携した学校運営の推進による本校教育活動の理解深化	①学校説明会を通じて、魅力ある情報発信を行う。中学校訪問を全教員で実施する。 ②HPによる学校の情報発信を積極的に行う。 ③地域に貢献するため、他校種との交流や地域のボランティア活動に積極的に参加する。 ①PTA・後援会からの意見や要望を学校運営に活かし、保護者からの学校満足度を向上させる。 ②PTA・後援会に学校行事の協力を依頼し、役員参加者数を増やし、連携を図る。	①学校説明会参加者数の延べ1700名以上。(R2 1676名) ②HPトップページの更新回数を年間50回以上、HPのアクセス数毎月平均10,000回以上。 ③越谷市内中学校との授業交流を実施、地域のボランティア活動に参加。 ①学校評価保護者アンケート「本校に入学してよかったと感じる。」(入学満足度)90%以上 ②PTA・後援会役員の学校行事での参加者数。	魅力ある情報発信がほぼ達成できた。 ①学校説明会参加者数の延2040名(昨年比+364名)。 ②HPトップページを71回更新。HPアクセス数毎月平均37,460回。 ③越谷市立東中との授業交流実施し、本校から1教科4名が訪問。中学2年生の上級学校訪問は中止。川の清掃ボランティアに41名参加。 保護者や地域との連携が概ね達成。 ①保護者アンケート「本校に入学してよかったと感じる。」82.0%。 ②新型コロナ感染防止のため、生徒と職員で行うなど工夫して学校行事を実施。延べ31名参加。	A	感染防止対策を行い、学校説明会を計画通り実施した。参加者数は昨年の+21.7%であった。HPにて情報発信を行うことができた。来年度も学校説明会・HP・中学校訪問等で継続して情報発信を行う。 学校行事の殆どが生徒と職員での開催となり、保護者の来校する機会が減少した。PTA・後援会理事会は規模を縮小して実施。来年度もPTA・後援会と連携し、保護者からの学校満足度90%以上を目指し、保護者からの意見を学校運営に活かす。

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	9名
	生徒	3名
	事務局(教職員)	10名

学校関係者評価
紙上開催実施日 令和4年2月9日
学校関係者からの意見・要望・評価等
<p>予習・復習をしている生徒が目標に達していないのが残念である。ベネッセclassi等を活用し、自発的な学習習慣を定着させるよう継続して働きかけをお願いしたい。 ベネッセclassiの活用やマルチメディア室を使用した授業を、各教科でもっと行って欲しい。 授業では、生徒が意見を発表したり、生徒同士の話し合いの場面等を多く取り入れ、生徒参加型の授業を多く実施して欲しい。</p> <p>計画的で組織的な進路指導の成果に感謝しつつ、大学短大への進学者が増加傾向にあるので、更なる進路指導に力を入れ、現役合格者数の増加に期待したい。 18歳が成人年齢となったため、高校卒業と同時に、大人として責任を持って社会に出ていくことになる。先生方の指導の下、しっかりとした進路決定を実現させて欲しい。</p> <p>頭髪や服装の規定が全国的に見直しされていることから、本校の基準についても見直しを行って欲しい。 学校評議員として若菜祭を見学し、コロナ禍で今まで通りの学校行事が行うことができない中、生徒達が今できることを考えて実施し、楽しんでいる姿を見て感動した。来年度もコロナ禍がどこまで続くか分からないが、引き続き、先生方と生徒で考え、工夫して学校行事を実施して欲しい。</p> <p>メール配信やHPで学校の様子が伝わるようになったので、引き続き、メール配信とHPを活用し、積極的な情報発信を行っていただきたい。 PTA活動として、学校行事に協力したいが、コロナ禍のため参加することができなかった。来年度も、PTAとして協力していきたいので、PTAが参加できる方法を検討していただきたい。 PTA活動が通常通り行えるように、PTA活動も工夫して実施をしていき、また、PTA広報活動として、学校の取り組みをお知らせし、保護者への理解度が高まるように取り組んでいきたい。</p>